

大阪のまちづくりグランドデザイン（案）の説明資料

今、大阪では、2025年大阪・関西万博の開催とともに、IRの誘致、国際金融都市OSAKAやスーパーシティの実現に向けた取組等が推進されるなど、大きく変わろうとしています。また、AIやデジタル技術などのテクノロジーの進展をはじめ、SDGsの達成やカーボンニュートラル、グリーン社会の実現など、まちづくりを取り巻く新たな潮流が生まれています。

これらを踏まえつつ、ポストコロナを見据え、万博やスーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、東西二極の一極を担う副首都として、大阪がさらに成長・発展していくため、大阪都市圏全体を視野に、2050年を目標として、大阪全体の大きなまちづくりの方向性を示す、「大阪のまちづくりグランドデザイン」を大阪府・大阪市・堺市において策定しました。

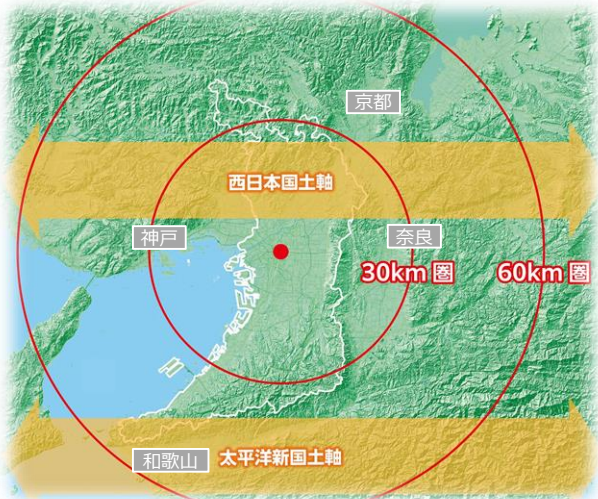
今後、都心部やベイエリアでの国際競争力を備えた拠点エリア形成や、各地域での多様な都市機能を備えた特色ある拠点エリア形成、大阪ならではの魅力を活かした新しい郊外の創造をはじめとした暮らしやすさNo.1都市の実現、多様な地域資源を活かした地域活性化等により、「未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり」を進めていきます。

このグランドデザインを羅針盤として、民間の活力を引き出しながら、多様な主体が一体となって大阪全体のまちづくりを推進し、便利で住みやすく、そして成長する大阪をめざします。

大阪都市圏からみた特徴・役割

- 大阪は、西日本国土軸及び太平洋新国土軸上に位置し、西日本経済の中心、世界のゲートウェイとしての役割とともに、今後、リニア中央新幹線の開業により、世界最大級のスーパー・メガリージョンを構成する西の核としての機能を担います。
- 放射・環状方向に発達した交通ネットワークを中心に、多様な都市機能が集積した市街地が連坦し、コンパクトな府域を形成するとともに、近隣府県の主要な都市と一体となって、広域的な経済交流圏を形成しています。
- 大都市でありながら、都市に近接した豊かな自然や、歴史・文化に関する多様な地域資源が集積しており、これらにアクセスしやすいという利点を有しています。
- 今後は、大阪の現状や2050年に向けた人口動向・社会情勢の変化、技術革新の見込みなどに的確に対応しつつ、大阪・関西万博やスーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、さらに成長・発展していくためのまちづくりを進めて行くことが求められています。

【大阪都市圏を取り巻く状況】



【世界のゲートウェイ、スーパー・メガリージョンの西の核】



めざすべき都市像

(1) まちづくりの目標

【まちづくりの基本目標】 **未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり**

【将来像】

①魅力的な国際都市として成長する大阪 「イノベティブな大阪」

- ・スーパー・メガリージョンの西の核として、創造的な人材をはじめ、国内外から多様な人・モノ・情報が集まり、さらにデジタル技術の活用もあいまって、スタートアップが育ち、イノベーションが生み出される都市
- ・金融をはじめ国際ビジネスや活力ある産業が集積するとともに、世界第一級のエンターテインメントを楽しめる国際的な都市
- ・魅力的なみどり・オープンスペースや水辺、美しい景観を備え、豊かな歴史・文化を身近に感じながら、働き、学び、遊び、暮らせる都市

②健康長寿で誰もが幸せを実感しながら暮らせる大阪 「ウェルビーイングな大阪」

- ・デジタル技術を活かし、便利で豊かな暮らしを実現し、誰もが健康でいきいきと豊かに生活できるスマートな都市
- ・まち全体にユニバーサルデザインが浸透し、誰もが幸せに暮らし、多様な価値観を互いに認め合える都市
- ・海・川・山などの豊かな自然や農空間との触れ合いを楽しみながら暮らすことができる都市

③未来へつながる安全・安心な大阪 「サステイナブルな大阪」

- ・防災インフラの充実など、ハード・ソフト両面で高い災害対応力を備え、未来にわたり都市機能が確保される安全・安心でレジリエントな都市
- ・カーボンニュートラルをはじめ、脱炭素社会や循環型社会の実現に向け、先進的な取組が展開される都市
- ・ウォークアブルな空間とともに、多様な交通モードや利便性の高い新しい交通システムが充実し、誰もが快適に移動できる都市

【まちづくり推進の視点】

- 多様性の確保:誰もが自分らしく活動でき、多様なニーズに対応できるまちづくり
- 共創:公民連携、広域連携、様々な分野の連携
- 資源の活用:大阪が持つ強みや多様なストック・ポテンシャルの活用

イノベティブな大阪

ウェルビーイングな大阪

サステイナブルな大阪

めざすべき都市像

将来のまちのイメージ

◆国際的なビジネス・エンターテインメント機能など、多様な都市機能が集積し、国内外から多様な人々が集まる都心部

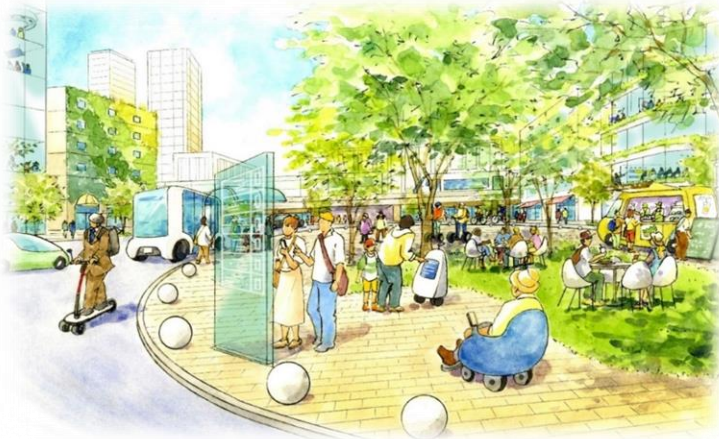


(提供:うめきた2期開発事業者)
2022年5月時点のイメージパースであり、今後変更となる可能性があります。

◆業務機能をはじめ、商業や交流機能などの高度な都市機能が集積し、広域的な拠点機能を担っている主要駅周辺



◆暮らしを支える多様な都市機能が集積し、地域の交通ネットワークの核となっている人中心の空間を備えた駅周辺



◆職・住・遊が融合し、緑豊かな環境で、ゆとりある暮らしができるスマートな郊外住宅地



◆海辺ならではのアクティビティや美しい景観に触れながら、ワーケーションの拠点としても人気を博しているベイエリア



◆最先端テクノロジーの導入により、アクセス性やサービス機能が充実し、豊かな自然や農空間との触れ合いを楽しむことができる周辺山系ゾーン



めざすべき都市像

(2) まちづくりを支える都市構造

1) 大阪を取り巻く都市構造

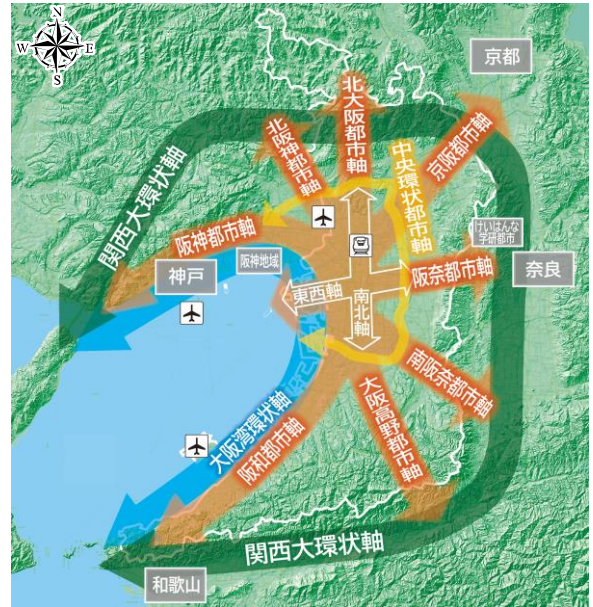
① 広域的な都市構造

大阪都心部を中心として、西日本国土軸・太平洋新国土軸や大阪湾環状軸・関西大環状軸、空港・港湾・新幹線等の広域交通インフラ等で構成される広域的な都市構造を有しています。



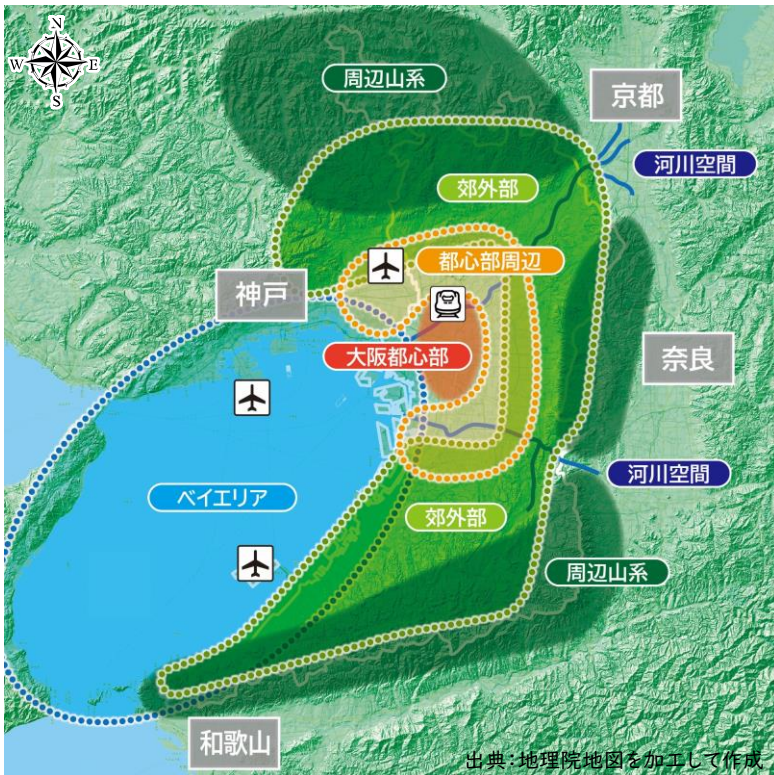
② 府域の都市軸

大阪都心部から放射・環状方向に発達した鉄道や幹線道路の交通ネットワークを中心に、多様な都市機能が集積し、都市軸を形成しています。



③ 府域のゾーニング

土地利用や人口・都市機能の集積状況等を踏まえ、以下のようにゾーニングを設定します。



大阪都心部

- 概ねJR大阪環状線に囲まれたエリア及び新大阪駅周辺に至る地域。
- 高度なビジネス機能や多彩なエンターテインメント機能をはじめとした多様な都市機能が集積した、世界で存在感を発揮するゾーンの形成が求められています。

都心部周辺

- 概ね大阪都心部の境界から、大阪中央環状線を越えて広がるエリアで、大阪市中心部から概ね15km圏に位置。
- 多様な都市機能や地域資源が集積するメリットを活かし、多様な都市居住ニーズに対応するとともに、リニア・北陸新幹線開業のインパクトも見据え、都心部と一体となって大阪の成長・発展をけん引するゾーンの形成が求められています。

郊外部

- 概ね大阪中央環状線から、周辺山系に至るまでの地域。
- 都心部や周辺の主要都市へのアクセス性が高く、豊かな自然環境等を有するという大阪ならではの郊外のメリットを活かし、多様な働き方・暮らし方を実現できるゾーンの形成が求められています。

ベイエリア

- 大阪市から岬町に至る臨海部・沿岸部や地先水面など。
- 世界・アジアとつながるゾーンとして、国際競争力の強化とともに、多様な地域資源を活かした広域連携の取組により、エリア全体の魅力向上を図っていくことが求められています。

河川空間

- 淀川水系や大和川水系をはじめとした河川・河川敷やその沿川を対象としたゾーン。
- 海と山麓、沿川の府県や市町村をつなぐゾーンとして、水辺空間をはじめ、魅力ある地域資源を活かした広域連携の取組により、エリア全体の魅力向上を図っていくことが求められています。

周辺山系

- 北摂山系、生駒山系・金剛山系、和泉葛城山系や、麓の農空間等も含むゾーン。
- 都心部との近接性を活かし、多様な歴史・文化資源や自然環境を活かした広域連携の取組により、多彩なコンテンツを楽しむゾーンの形成が求められています。

めざすべき都市像

2) めざすべき都市構造

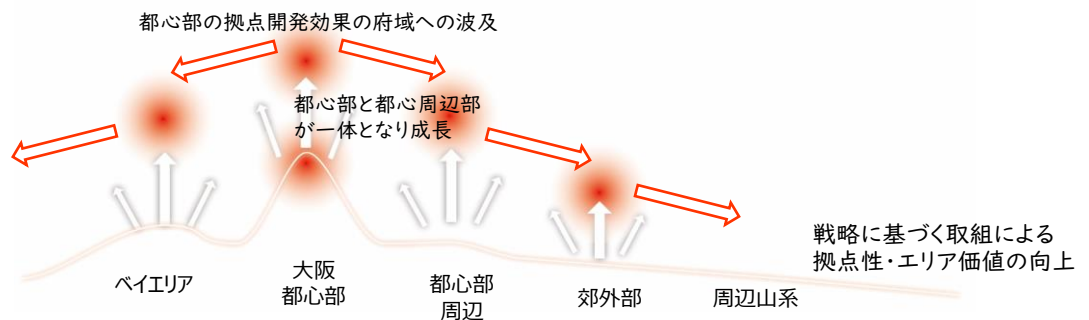
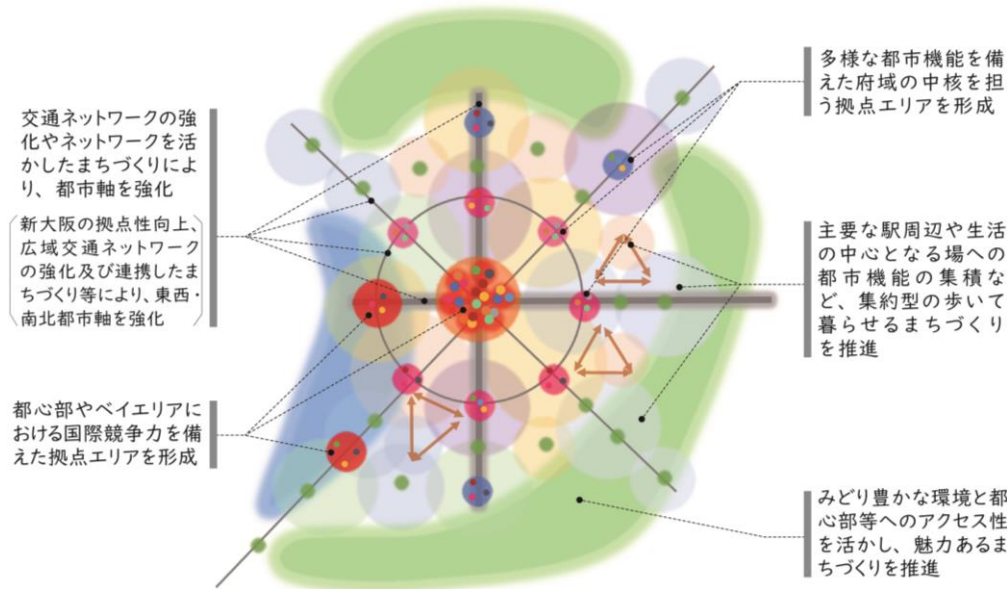
◆ 広域レベル: 広域的な都市構造を活かした都市圏の形成

国土軸や環状軸、空港・港湾・新幹線等の広域交通インフラなど、広域的な都市構造を活かし、世界・アジア並びに全国や都市圏内外での人・モノ・情報の交流・連携を強化し、スーパー・メガリージョンの西の核、世界のゲートウェイに相応しい都市圏を形成します。

◆ 府域レベル: マルチハブ&ネットワーク型都市構造の形成

大阪全体の成長・発展のためには、都心部等での拠点形成とともに、その拠点開発効果を府域へ波及させていくことや、新型コロナ禍を契機としたライフスタイルの多様化を踏まえ、府域の様々な地域において、多様な働き方・暮らし方を選択できるまちを実現することが求められています。

このため、都心部やベイエリアにおける国際競争力を備えたエリア形成とともに、放射・環状の交通ネットワーク上を中心として、多様な都市機能を備えた特色ある拠点エリアや魅力ある生活圏を形成し、相互に連携する都市構造をめざします。



まちづくりの戦略と取組の方向性

めざすべき都市像の実現に向け、広域的な視点から取り組むべき、5つのまちづくりの戦略とその取組の方向性を示し、民間の活力を最大限に引き出しながら、具体的な取組を多様な主体が一体となって進めます。

戦略 01 成長・発展をけん引する拠点エリアを形成

- 1) 世界で存在感を発揮する拠点エリア
- 2) 大阪の中核を担う拠点エリア
- 3) 経済成長を促す産業拠点・集積エリア

戦略 02 大阪ならではの魅力を活かし暮らしやすさNo.1都市を実現

- 1) 駅周辺での拠点形成と魅力ある生活圏の創造
- 2) 郊外住宅地を多様な世代が住み、働き、交流するまちへ再編
- 3) 豊かな自然を活かしたまちづくり

戦略 03 海・川・山や多様な地域資源を活かし、地域を活性化

- 1) 大阪広域ベイエリアのまちづくり
- 2) 河川空間を活かした魅力あるまちづくり
- 3) 周辺山系の自然資源等を活用したまちづくり
- 4) 多様な地域資源を活かした魅力あふれる都市空間の形成

戦略 04 人・モノ・情報の交流を促進

- 1) 交通インフラと連携したまちづくり
- 2) 豊かな都市空間を創造するまちづくり

戦略 05 安全・安心でグリーンな社会を実現

- 1) 安全・安心なまちづくり
- 2) グリーン社会の実現に向けたまちづくり

成長・発展をけん引する拠点エリアを形成

広域的な都市構造、府域の都市軸・ゾーニング、及び今後のまちづくりの動向等を踏まえ、拠点性を発揮すべき一体的なエリアを示し、公民連携のもと、新たな民間投資の誘発とともに、多様な主体の参画や広域連携の取組により、エリア価値を高め、大阪・関西の成長・発展につなげます。

1) 世界で存在感を発揮する拠点エリア

高次都市機能・都市基盤が充実した「都心部」や、世界・アジアとつながる「ベイエリア」において、国際的な業務や観光、交流機能等を備えた、世界で存在感を発揮する国際競争力を備えた拠点エリアを形成します。

「都心部」又は「ベイエリア」の核となるエリアとして、これまでグランドデザイン・大阪の象徴的なエリアとして拠点エリアの形成を進めてきた大阪市内の「都心5エリア」及び「夢洲・咲洲エリア」については、引き続き拠点性を高めていくエリアとして設定するとともに、「堺都心周辺エリア」及び「関空・りんくう周辺エリア」を新たに設定します。

新大阪・大阪エリア ※都心5エリア

大阪・関西の中枢、スーパー・メガリージョンの西の拠点



うめきた2期地区開発のイメージ
提供：うめきた2期開発事業者
2022年5月時点のイメージベースであり、今後変更となる可能性があります



十三緊急船着き場整備イメージ
出典：淀川河川敷十三エリア
魅力向上協議会資料



新大阪駅エリア計画 魅力ある低層部のイメージ
出典：新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針2022

大阪城・周辺エリア ※都心5エリア

観光・文化・学術・産業の融合エリア



大阪公立大学森之宮キャンパス
イメージ
出典：公立大学法人大阪HP



難波宮跡公園整備運営(北部ブロック)、
管理運営(南部ブロック)イメージ
提供：難波宮跡公園「みんなのにわ」プロジェクト

なんば・天王寺・あべのエリア ※都心5エリア

大阪ならではの魅力を発信する文化観光拠点



なんば駅周辺の空間再編イメージ
出典：なんば駅周辺における空間再編推進事業整備プラン



高架下のにぎわい創出のイメージ
出典：新今宮駅北側まちづくりビジョン

御堂筋・周辺エリア ※都心5エリア

高質で風格ある大阪のシンボル



フルモール化イメージ
出典：御堂筋将来ビジョン



中之島・周辺エリア

※都心5エリア

水・みどり・光を活かした水都大阪のシンボル



未来医療国際拠点のイメージパース
提供：中之島4丁目用地における
未来医療国際拠点整備・運営事業開発事業者
2021年5月時点のイメージパースであり、
今後変更の可能性があります



中之島通の
歩行者空間整備
提供：大阪市

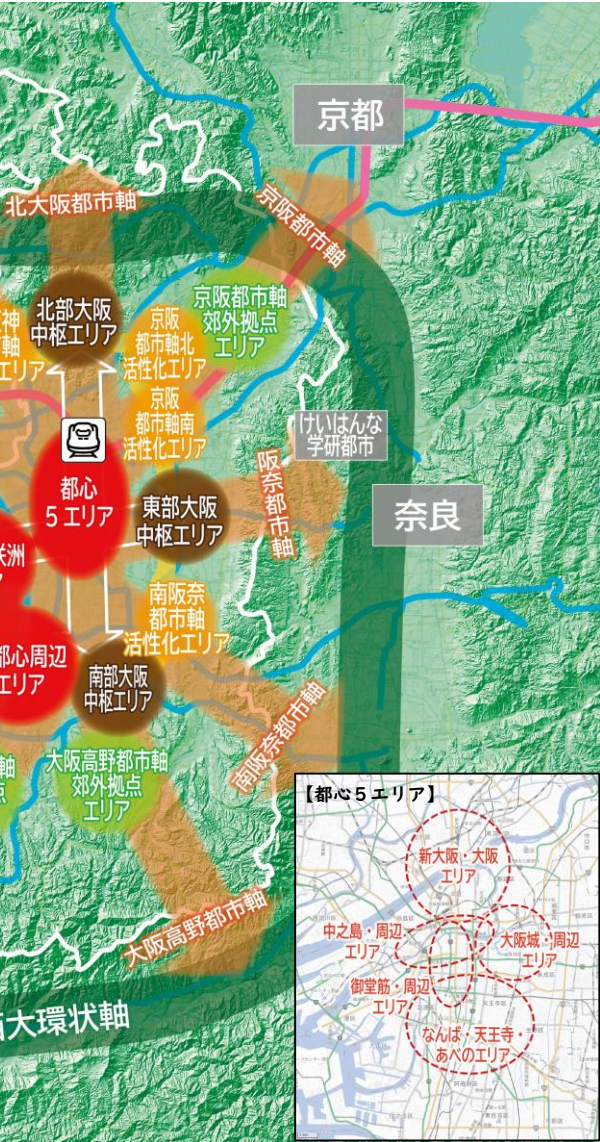


中之島公園
出典：水都大阪コンソーシアムHP



大阪IRイメージパース全景

出典：区域整備計画（概要版）
イメージパースは現時点での想定イメージであり
今後の計画調整等により変更することがあります



夢洲・咲洲エリア

国際観光・国際物流・国際交流拠点



2025年日本国際博覧会会場の
鳥瞰図イメージ
提供：2025年日本国際博覧会協会



天保山客船ターミナルのイメージ
出典：大阪“みなと”ビジョン

堺都心周辺エリア

類まれな歴史文化と多様な都市機能を有する拠点



大仙公園エリア
提供：堺市



次世代都市交通
提供：堺市

関空・りんくう周辺エリア

世界のゲートシティ・泉州南部の核



りんくうプレミアム・アウトレット
提供：りんくうプレミアム・アウトレット



SENNAN LONG PARK
提供：泉南市

ストリート



まちなみイメージ
出典：御堂筋デザインガイドライン

2) 大阪の中核を担う拠点エリア

都心部の拠点開発効果の府域への波及、及び新型コロナを契機とした多様な働き方・暮らし方を選択できるまちの実現に向け、「都心部周辺」や「郊外部」において、多様な都市機能を備えたエリアを形成します。

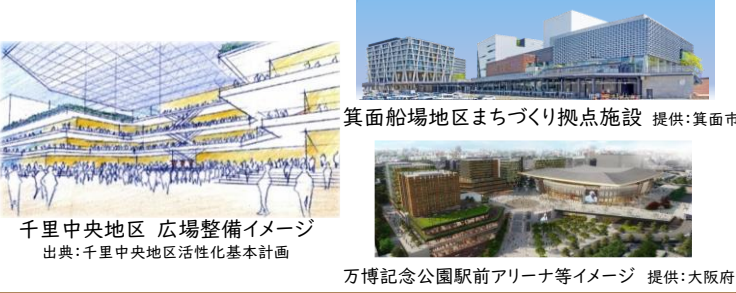
交通利便性をはじめ、立地ポテンシャルの高い地域でのエリア形成を推進する観点から、都市軸の結節性等を重視し、「中央環状都市軸と東西・南北都市軸の交点」「中央環状都市軸と放射都市軸の交点」「郊外部で市街地が連担している放射都市軸の中心」においてエリアを設定します。



北部大阪 中枢エリア

※千里中央駅を中心に、箕面萱野駅、万博記念公園駅等を含むエリア

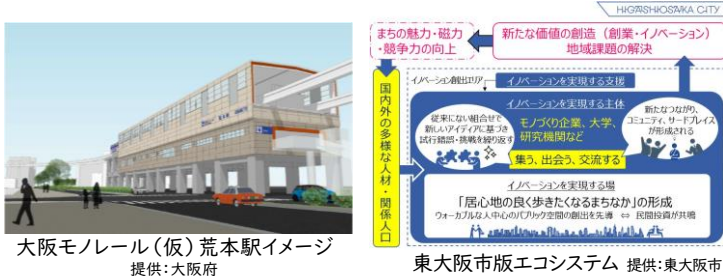
北部大阪の成長・発展をけん引するエリア



東部大阪 中枢エリア

※東大阪市中心市街地を含むエリア

東西都市軸の強化・発展を担うエリア



南部大阪 中枢エリア

※中百舌鳥駅周辺、美原、河内松原駅等を含むエリア

南部大阪の成長・発展をけん引するエリア



大阪高野都市軸 郊外拠点エリア

※泉ヶ丘駅～光明池駅、金剛駅、河内長野駅等を含むエリア



京阪都市軸 郊外拠点エリア

※高槻市中心市街地及び枚方市中心市街地を含むエリア

大阪・京都間の中心機能を担うエリア



北阪神都市軸 活性化エリア

※豊中駅、池田駅、大阪国際空港等を含むエリア

北阪神都市軸の発展を担うエリア



池田駅前活性化プロジェクト
提供:池田市



服部緑地イメージパース
提供:大阪府

京阪都市軸北 活性化エリア

※岸辺駅、千里丘駅、茨木駅、茨木市駅等を含むエリア

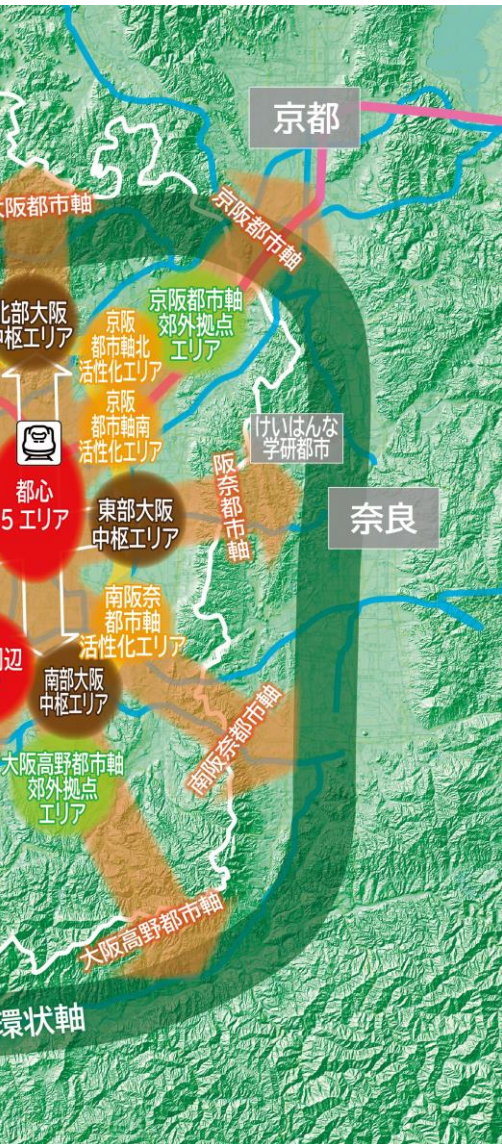
京阪都市軸（北側）の発展を担うエリア



茨木市市民会館跡地エリア活用
提供:茨木市



JR千里丘駅西地区市街地再開発
提供:摂津市



京阪都市軸南 活性化エリア

※守口市駅、大日駅、門真市駅、門真南駅、寝屋川公園駅等を含むエリア

京阪都市軸（南側）の発展を担うエリア



門真市古川橋駅北地区
提供:門真市



寝屋川公園駅周辺での魅力あるまちづくり
提供:寝屋川市

南阪奈都市軸 活性化エリア

※八尾空港周辺、柏原駅、藤井寺駅、古市駅、南阪奈道路沿線等を含むエリア

南阪奈都市軸の発展を担うエリア



八尾空港西側跡地まちづくり
出典:八尾空港西側跡地まちづくり構想(案)を加工して作成



八尾富田林線整備と併せた
沿道まちづくりイメージ 提供:藤井寺市



大和川の河川空間オープン化
イメージ 提供:柏原市

阪和都市軸 郊外拠点エリア

※和泉中央駅、和泉府中駅、泉大津駅、岸和田駅、貝塚駅等を含むエリア

泉州・ベイエリアの核となるエリア



泉州山手線整備に併せた
モビリティ・ハブの整備イメージ
提供:岸和田市



せんごくの杜のまちづくり
提供:貝塚市



和泉中央駅周辺の整備イメージ
提供:和泉市

3) 経済成長を促す産業拠点・集積エリア

① 大阪が強みを有する産業の強化

彩都、健都、未来医療国際拠点(中之島)における健康・医療産業拠点の形成

② ベイエリアや主要幹線道路沿道等での産業立地の誘導

ベイエリアや高速道路IC付近、第二京阪道路・大阪外環状線等の主要幹線道路沿道での計画的な土地利用転換による産業立地誘導

③ イノベーション創出拠点の形成

うめきた、大阪城東部、東大阪、八尾、中百舌鳥周辺等での企業や人材、大学などと連携したイノベーション拠点の形成

今後、テクノロジーの進展などによりライフスタイルが更に多様化していく中で、大阪が持つ自然環境などの地域資源と、大阪都心部などへのアクセス性の良さという特徴を最大限に活かしたまちづくりを、地域の多様な主体が共創し自立して進めることで、“新しい郊外”の創造をはじめ、様々なニーズに応じた新たな職住遊のライフスタイルを先導する「暮らしやすさNo.1」の都市をめざします。

テクノロジー × 地域資源 × 共創

自然も都会もおとなりさん

1) 駅周辺での拠点形成と魅力ある生活圏の創造

- ・駅周辺を中心に一定の生活圏が形成されているエリアでは、駅周辺への都市機能の集積や、新たなモビリティの活用による移動手段の充実を図るとともに、沿線地域の活性化など、鉄道沿線を軸としたまちづくりを推進します。
- ・急行停車駅など地域の核となっている主要駅周辺においては、駅周辺の再整備等を通じて都市機能の集約・更新・高度化を図り、拠点性を高めます。
 - 駅周辺への都市機能の集積や駅周辺を中心とした地域特性を活かした生活圏の形成および鉄道沿線まちづくりの推進
 - 市街地再開発や密集市街地などの整備による都市機能の向上
 - 駅前空間の車中心から人中心の空間への転換やエリアマネジメントによる居心地の良い空間の形成
 - リモートワークやシェアオフィス、コワーキングスペースなどの活用による働く環境・場の創出
 - 公園や緑道などのみどりや、地域の歴史・文化を活かしたまちづくりの促進 など



イメージ図
駅前空間の将来像



高石駅周辺整備イメージ
出典：高石駅周辺整備基本構想

つなぐわ、広げるわ、育むわ

線のある開放的な屋上庭園！

駅周辺には一時的に滞在できる場所として

つなぐわ
ひととまちをつなぐ
交通・交流拠点

ひろげるわ
周辺に広がる
賑わいの創出拠点

Re-Settsu

2027年 完成予定!

雨の日でも濡れずにアクセス!

はくくむわ
快適なまちを
持続的に育む
まち育て拠点

賑わいを生み出すシンボルロード!

※ 掲載しているパースはイメージであり、今後変更する場合があります。

千里丘駅西地区再開発事業
出典：摂津市

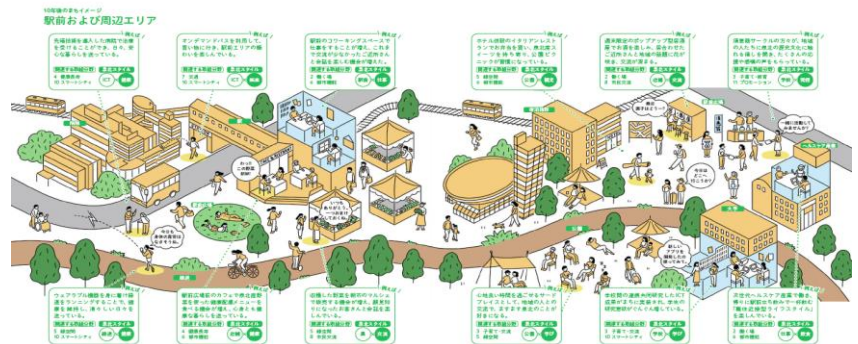
2) 郊外住宅地を多様な世代が住み、働き、交流するまちへ再編

・ニュータウンなどの同時期に一斉に開発された住宅地エリアでは、市街地の更新にあわせ、公的賃貸住宅などの建替により創出される空間などを利活用することで、地域の成長につながる商業や教育、業務機能等の導入や、コワーキングスペースや地域のにぎわいを生み出す交流スペースの創出などを行い、まちの活性化を図ります。

- 公的賃貸住宅などの建替等による活用地の創出、まちづくりへの利活用
- 空家のリノベーションなどによるライフスタイルに合わせた住まいなどの創出
- 広場空間や交流スペースなどを活用した多様な人材によるコミュニティの形成
- 電動モビリティや自動運転バス、AIオンデマンド交通などの新たなモビリティの活用によるエリア内および周辺ニュータウンとの移動円滑化
- 産官学民が連携したエリアマネジメントの取組 など



イメージ図
ニュータウンの将来像



SENBOKU New Design
提供:堺市

3) 豊かな自然を活かしたまちづくり

・山や海などの自然に近いエリアでは、AIオンデマンド交通などによる駅とのアクセスを確保しつつ、農業・漁業などのスマート化やテクノロジーを活用したサービス機能の提供などにより、日常生活の利便性を確保し、山や海など豊かな自然や農空間との触れ合いを楽しみながら、多様な人々が生活できるまちづくりを推進します。

- リモートワークや仮想空間での交流などによる働く環境の創出
- リモート教育、ヘルスケア、ドローン宅配など先端技術を活用したサービスの提供
- 山や海などの自然資源や農空間の保全およびそれらを活かしたコンテンツや教育・余暇活動の提供・充実
- AIオンデマンド交通などによる駅との交通アクセスの確保
- 住まいや暮らし、働く環境の創出などの定住魅力や、歴史・文化、観光情報の発信などの都市プロモーションの実施 など



イメージ図
自然豊かな山麓の将来像



スケルトンカヤック
提供:せんなん里海公園

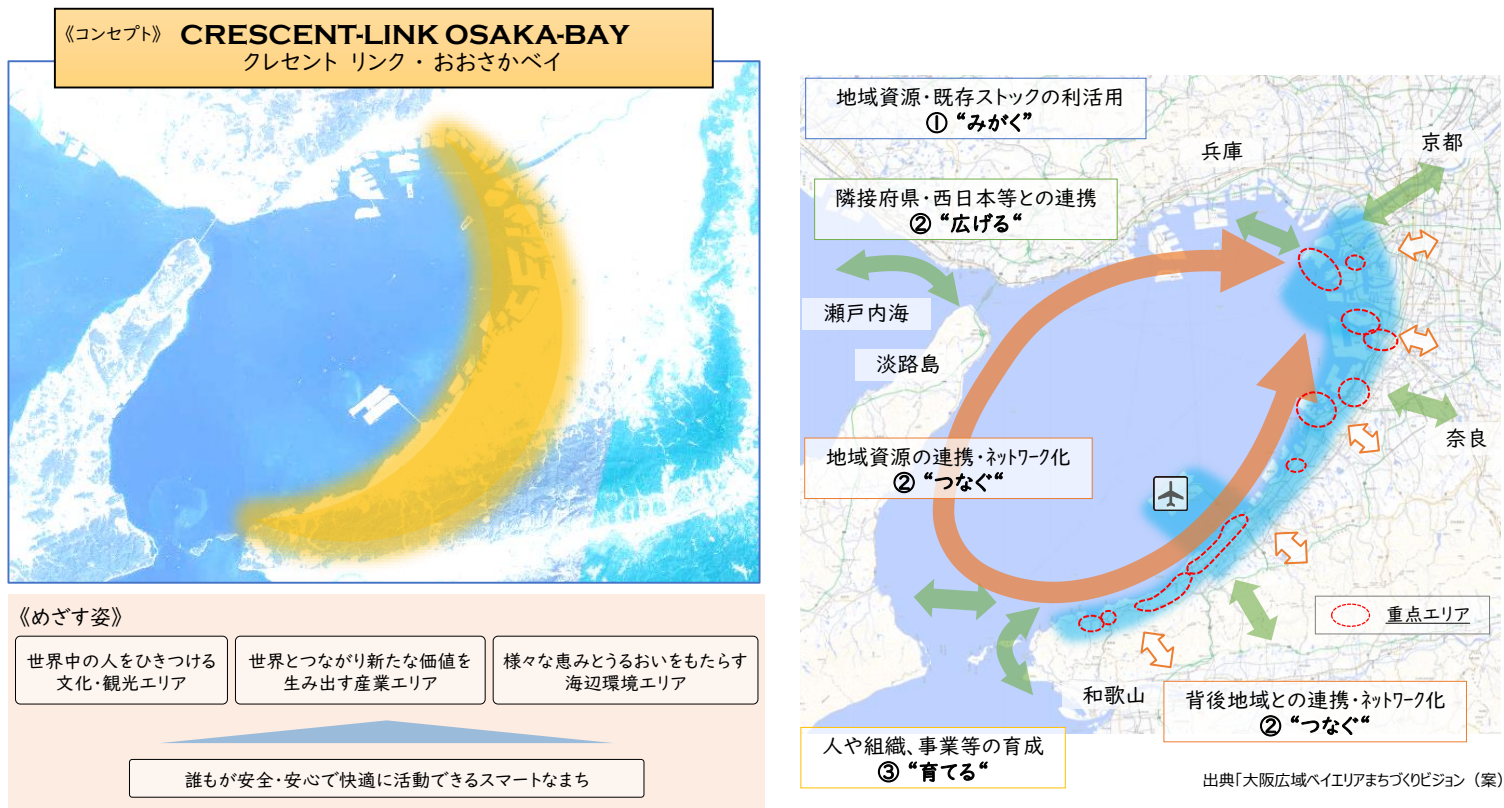


ドローン・クリケットフィールドでの
農薬散布の実証実験
提供:貝塚市

豊かな自然環境や歴史・文化・景観資源をはじめとした多様な地域資源が集積する強みを活かし、府県域にとられず、広域的に連携することで、各地域、ひいては大阪・関西全体の活性化を図ります。

1) 大阪広域ベイエリアのまちづくり

夢洲における大阪・関西万博等のインパクトや泉州地域沿岸部の様々な地域資源を最大限に活用しながら、ベイエリア全体を活性化し、更なる大阪・関西の発展につなげるため、ベイエリアにおけるまちづくりを推進します。



まちづくりのコンセプトとめざす姿

取組の方向性

2) 河川空間を活かした魅力あるまちづくり

河川敷や船着場などに加え、その沿川の歴史・文化資源など沿川市町村が有する個性豊かなストックを活かし、多様な主体と連携しながら、様々な取組を進めることで魅力あるまちづくりを推進します。

- ベイエリアから水の回廊へつながる海と川を結ぶ結節点における、水辺のにぎわい拠点の形成
- 淀川における舟運と連携した沿川地域の魅力向上
- 沿川の歴史・文化資源など、地域の魅力を感じることができるサイクルツーリズム等の取組の推進
- かわかまちづくり制度を活用した舟運の活性化や水辺空間の整備等による沿川のにぎわいづくり
- 河川空間における空飛ぶクルマなど新たなモビリティの運行ルートの確保と発着地のにぎわいの創出
- 淀川大堰閘門の整備による防災力の向上と舟運の活性化・沿川のにぎわいの創出
- ダム周辺の環境を活かした魅力あるまちづくり など



3) 周辺山系の自然資源等を活用したまちづくり

都市との近接性を活かし、身近にみどりを感じられる山や森林、自然歩道などの自然資源等を最大限に活用しながら、自然にふれあい、学び、体験できる場を創出するなど、周辺山系におけるまちづくりを推進します。

- ハイキングイベントやグランピングなどの取組による周辺山系のにぎわい創出
- 民間のアイデアやノウハウを活かした府民の森等の魅力の向上
- 自然資源、歴史・文化資源、ピュースポット等のネットワークによる、回遊性の向上及び活性化
- 農空間の保全や森林保全による周辺山系全体の魅力向上
- 農の資源やポテンシャルを活かした地域の活性化
- 子どもから大人まで楽しむことができる、魅力的な自然体験活動の提供や情報発信による認知度の向上 など



ハイキング(なるかわ園地)
提供:大阪府



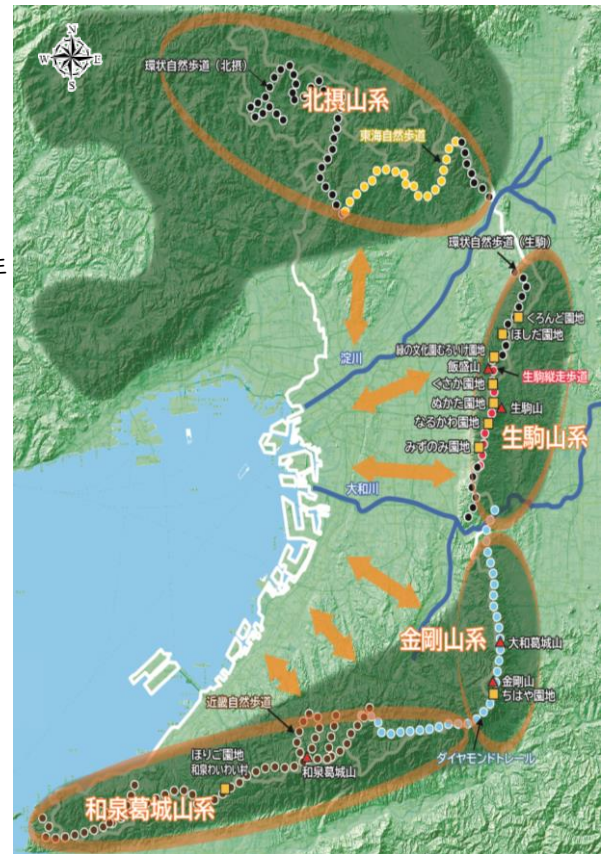
南河内グリーンロード
提供:大阪府



ダイヤモンドトレール
出典:大阪府HP



ナイトウォーク(ほしだ園地)
提供:大阪府



周辺山系の自然資源等

4) 多様な地域資源を活かした魅力あふれる都市空間の形成

歴史・文化・景観・アートなどの魅力的な地域資源を活かし、まちの魅力を内外に発信していくとともに、地域の多様な担い手との連携して、にぎわいと魅力あふれる都市空間を形成し、地域の活性化を図ります。

- ①歴史・文化・自然資源・都市景観等を活かした魅力あふれる都市空間の創造
 - 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」や日本遺産「竹内街道・横大路(大道)」、歴史街道など、歴史・文化資源を巡る観光ネットワークの形成
 - 自転車や新たなモビリティ等でつなぐ周遊ルートの形成による回遊性の向上
 - 公民連携による歴史・文化資源や伝統産業を活用した地域振興
 - 豊かな食文化の継承と魅力発信 など
- ②景観資源を活用した魅力あふれる都市空間の創造
 - 歴史・文化資源、都市インフラ、夜間景観など、様々なストックやポテンシャルを活かした魅力ある景観づくり
 - 高度な都市機能の集積地にふさわしい都心部の景観形成や、都心部周辺、郊外部の駅周辺での地域性を活かし、周辺との調和に配慮した景観形成 など
- ③アートを活用した魅力あふれる都市空間の創造
 - 多様な自然資源とアートの融合による新たな価値を感じられる空間の創出によるにぎわいづくり など



大阪城
出典:水都大阪コンソーシアムHP



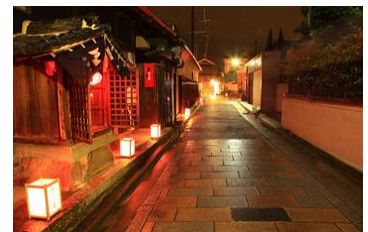
百舌鳥・古市古墳群
出典:大阪府HP



御堂筋夜間景観(イメージ)
出典:大阪・光の饗宴実行委員会



自然風景の中のアート
出典:のせでんアートラインHP



竹内街道
出典:太子町観光・まちづくり協会HP

1) 交通インフラと連携したまちづくり

① 道路ネットワークの機能強化と沿道まちづくり

都市の骨格となる道路ネットワークの充実・強化を図るとともに、幹線道路沿道のポテンシャルを活用し、幹線道路の整備との連携等も図りながら、まちづくりを推進します。また、既存のインフラストックの効果的な活用を促進します。

《道路ネットワークの機能強化》



《幹線道路沿道まちづくり》

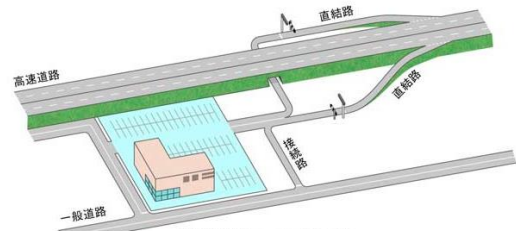


交野市星田北地区



門真市北島東地区

《既存道路ストックの効果的な活用》



民間施設直結スマートIC

出典:国土交通省

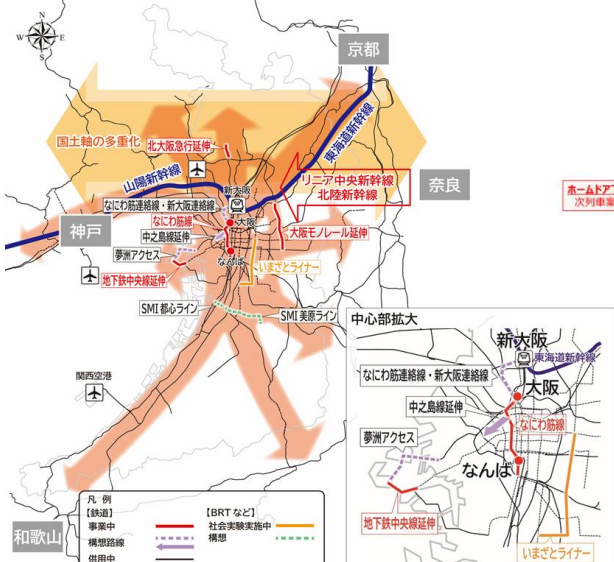
出典:高規格道路・一般広域道路・構想路線は、「近畿ブロック 新広域道路交通計画(令和3年7月 近畿地方整備局)」より作成

② 交通ネットワークの充実と沿線まちづくり

鉄道等による国土軸や広域拠点などアクセス向上や安全・安心で快適な移動の確保などと図るとともに、新たな交通システムの導入などの取組を推進します。また、鉄道延伸や高架化事業等に合わせたまちづくりを推進します。

《公共交通ネットワーク等の充実》

《安全・安心で快適な移動の確保》



出典:大阪府「公共交通戦略(R1.11改定)」等を基に地理院地図より作成



フルスクリーンホームドア

出典:JR西日本 HP



多機能デジタルサイネージによる観光情報、乗継情報の発信

出典:大阪府「公共交通戦略」

《鉄道整備等に合わせたまちづくり》



北大阪急行延伸部まちづくり

出典:真面目市HP



光善寺駅西地区 市街地再開発事業

出典:枚方市HP

③ 空港・港湾の機能強化等

国際競争力の更なる強化を図るため、西日本のゲートウェイとしての空・海の機能強化を図ります。

《空港の機能強化等》

《港湾の機能強化等》



第1ターミナルビルリノベーション
提供:関西エアポート(株)



アクセスサイン
提供:一般財団法人関西観光本部



此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり構想
出典:大阪市此花区HP



夢洲コンテナターミナル
出典:大阪港湾局HP

2) 豊かな都市空間を創造するまちづくり

① 人中心の快適で魅力ある空間の創出

まちのメインストリートなどにおいて、ゆとりある空間や良好な景観形成、官民連携によるエリア価値向上等の取組などによる、にぎわいにあふれ、魅力あるウォカブルなまちづくりを推進します。

また、高齢者や障がい者等はもちろん、誰もが安心して快適に利用できるよう、公共空間・施設等の一体的なバリアフリー化や情報の多言語表記など、まちのユニバーサルデザイン(UD)化を推進します。

《ウォカブルなまちづくりの事例》



御堂筋 フルモータル化イメージ
出典：大阪市「御堂筋将来ビジョン」



SMI都心ラインと
ウォカブルな空間のイメージ
提供：堺市

《ユニバーサルデザイン(UD)化の事例》



歩道のバリアフリー事例 出典：大阪市HP



多言語表記による経路床面
案内表示の事例

《エリアマネジメント活動促進の事例》

大阪市エリアマネジメント活動促進制度*を活用した
グランフロント大阪TMOにおける取組

<歩道空間の管理>



*自治体によって徴収する安定的な財源で、民間団体(都市再生推進法人)による道路等の公共空間での継続的で自由度の高い活動や質の高い維持管理が可能

エリアマネジメント活動促進制度
出典：大阪市

② 自転車を活用したまちづくり

自転車通行空間や利用環境の整備、広域連携による取組などを推進します。

《自転車活用の取組事例》



自転車通行空間 事例



サイクルポート 事例

《広域連携による取組》



サイクルルートイメージ

③ 水上交通を活用したまちづくり

大阪湾内の拠点を結ぶネットワークの充実や海の駅などの活用による海洋性レクリエーションの活性化とあわせて、周遊クルーズの充実とともに、水都大阪(水の回廊)や淀川舟運と連携したネットワークの充実などにより、ベイエリアの魅力を上し広域的な人の動きを創出します。



淀川を航行する観光船
出典：淀川河川事務所HP

④ 新たなモビリティを活用したまちづくり

多様化した移動ニーズ等を踏まえ、快適な移動や回遊性の向上などに資する、新たなモビリティを活用したまちづくりを推進するとともに、様々な移動手段をシームレスにつなぎ多様なサービスが選択できるMaaSの社会実装をめざします。

《新たなモビリティの取組事例》



グリーンスローモビリティ社会実験
出典：河内長野市HP

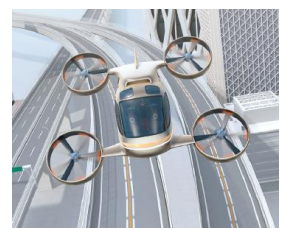


自動運転モビリティ
出典：「大阪スマートシティ戦略VER.2.0」

⑤ エアモビリティを活用したまちづくり

短中距離の空の移動を可能とするいわゆる“空飛ぶクルマ”の実現に向け、まずは2025年大阪・関西万博における商用運航の実現に向けて取組を推進します。

《空飛ぶクルマ》



出典：「大阪府における空の移動革命社会実装に向けて」パンフレット

今後、遠くない将来に発生する可能性がある南海トラフ地震や地球温暖化に伴う気候変動等による気象災害リスクに的確に対応するため防災・減災対策に加え、気候変動そのものの緩和策として、カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けた取組が必要不可欠であり、これらを踏まえた安全・安心で住みよい都市環境づくりを推進します。

1) 安全・安心なまちづくり

① 人命を守る都市機能の強化

近年、風水害を中心に、自然災害が激甚化、広域化する中で、災害時におけるインフラ施設の被害を最小化し、被害の迅速な回復を図る減災の考え方も踏まえ、人命を守ることを最優先に、ハード・ソフト両面で高い災害対応力を備えたまちづくりを推進します。

【防災・減災の視点に立った土地利用誘導】

安全なまちづくりや住宅立地の安全性確保といった防災・減災の取組を推進するため、災害ハザードエリアでの開発の抑制や災害リスクを踏まえた居住誘導など、都市計画手法を活用しつつ、防災・減災の視点に立った土地利用誘導を図ります。

【地震・津波・高潮対策】

南海トラフをはじめとする巨大地震や台風時の高潮から、人命を守ることを最優先に、被害を最小化するための取組を通じて、災害に強いまちづくりを推進します。

【治水対策・土砂災害対策】

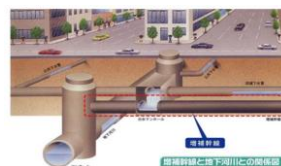
気候変動の影響による今後の水災害リスクの増大に備え、あらゆる関係者が協働して行う治水対策「流域治水」の考え方に基づき、大雨時に河川への雨水の流出を可能な限り抑えるための対策を行うなど、水災害リスクの低減に向けた取組を推進します。また、人命を守ることを最優先として、被災による影響が高い箇所での土砂災害対策施設の整備を進めます。



新木津川水門完成イメージ
出典：大阪府



防災公園の整備
出典：大阪府



治水施設の整備
(地下河川・下水道増補
幹線整備)
出典：大阪府都市整備中期計画



土砂災害対策施設の整備
(砂防堰堤)
出典：大阪府都市整備中期計画

【防災体制、地域防災力の強化等】

災害のおそれがある時や発生時において、必要かつ確でわかりやすい情報発信や避難行動に向けた意識向上につながる取組を推進します。



スマートフォンでの河川防災情報の提供(イメージ)
出典：大阪府



市町村による避難訓練の様子
出典：大阪府

② 供給処理施設の機能維持、再構築とまちづくりへの利活用

水道施設や下水道施設といった供給処理施設の適切な管理による機能維持や適正規模への再構築を図るとともに、再構築により生じた敷地等を活用したまちづくりを推進します。



供給処理施設上部の活用(屋上庭園)
出典：大阪市HP



供給処理施設周辺の活用(水辺)
出典：大阪府HP



供給処理施設周辺の活用(緑道)
出典：大阪府HP

2) グリーン社会の実現に向けたまちづくり

①みどりを活かした魅力あふれるまちづくり

まちの景観形成をはじめ、ヒートアイランドの緩和、防災機能の向上、憩い・にぎわいの場の創出など、都市公園等のみどりが有する多様な機能を高め、公園や鉄道などのインフラ整備やまちづくりに最大限に活用するとともに、民間活力による利用促進・利便性の向上を図ることにより、魅力あふれる都市空間を創出し、まちの活性化を図ります。



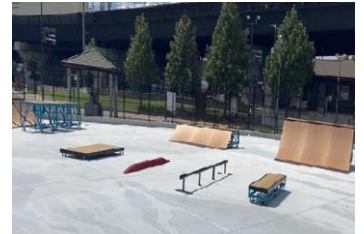
民間活力による賑わい創出(てんしばイーナ)
提供:近鉄不動産株式会社



鉄道駅周辺の緑化(JR日根野駅)
提供:大阪府



浜寺公園
提供:大阪府



堺市原池公園スケートボードパーク
出典:堺市HP



安満遺跡公園
出典:高槻市HP



みさき公園リニューアルイメージ
出典:ArkLE



グリーンインフラを活用した
都市環境の向上
出典:大阪府HP



クラインガルテンによる地域
コミュニティの形成
出典:大阪市HP

②脱炭素社会の実現に向けたまちづくり

将来にわたって安心・安全に暮らせる持続可能な都市の構築に向け、環境と経済の好循環を推進するとともに、大阪の成長につながる脱炭素社会の実現をめざします。



Suita サステイナブル・スマートタウン
提供:パナソニック株式会社



燃料電池バス
提供:大阪府

③循環型社会の実現に向けたまちづくり

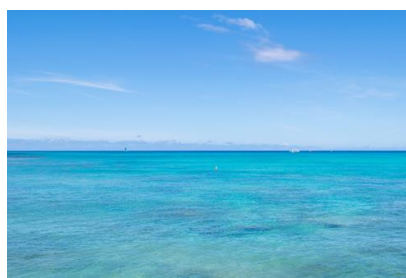
「大量生産・大量消費・大量廃棄型」の社会から、できるだけ少ない資源で生産、消費、再生(リサイクル)の循環を行う、持続可能な循環型社会をめざします。また、廃棄物の3R(リデュース、リユース、リサイクル)及び適正処理の推進を図り、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に寄与するため、プラスチックごみ対策や良好な水辺空間の創出等に重点的に取り組むことにより、府民の行動変容を促し、持続可能なまちづくりをめざします。

2000年～
リサイクルングエコノミー

～2050年
サーキュラーエコノミー



2050年にめざすべき循環型社会の将来像
出典:大阪府循環型社会推進計画



海洋プラスチックごみ対策の推進
出典:大阪広域圏エリアまちづくりビジョン(案)



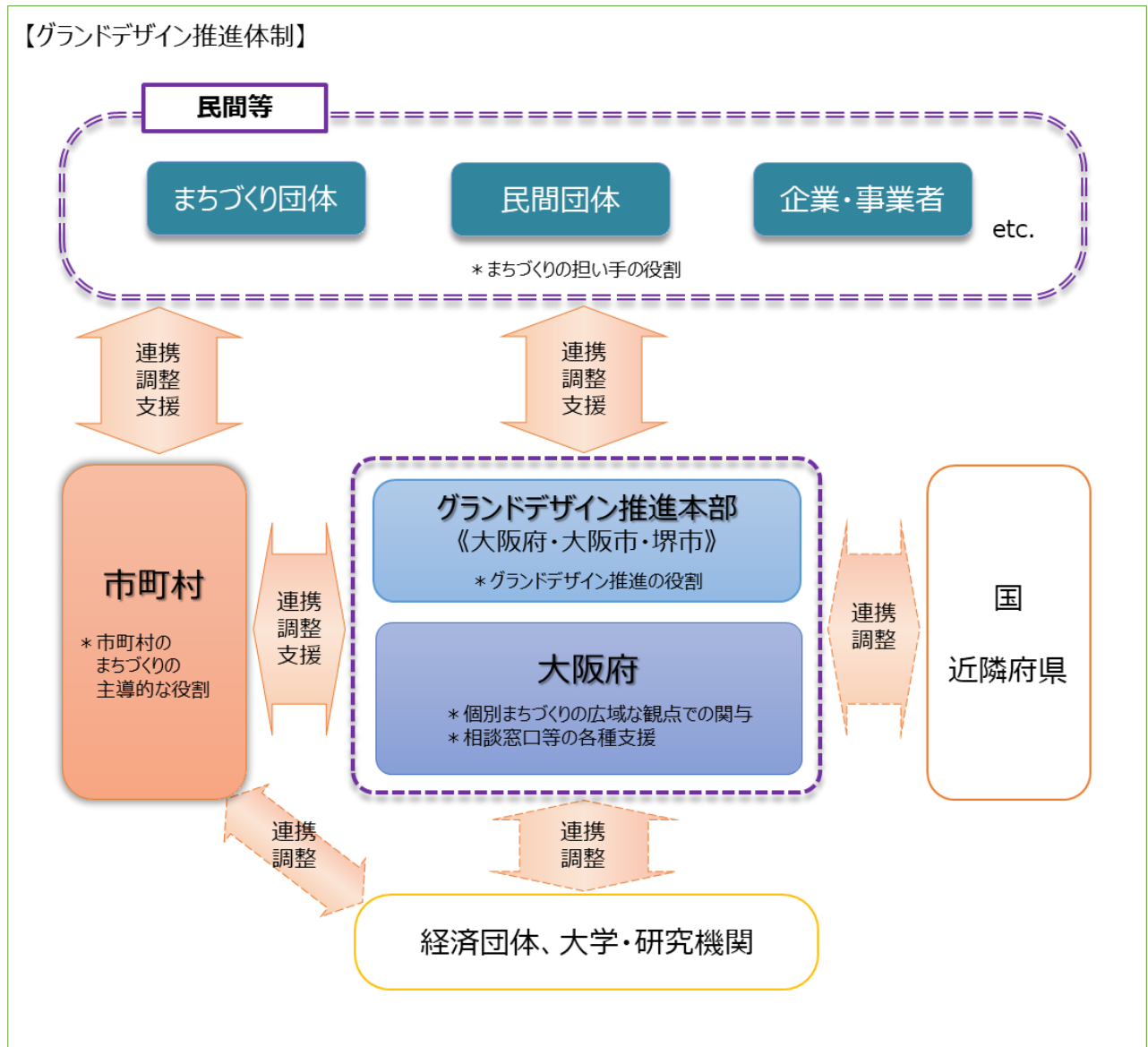
ブルーカーボン(アマモ)
提供:阪南市

グランドデザインの推進に向けて

(1) まちづくりに関わる様々な主体の役割及び推進体制

グランドデザインの推進を図るためには、まちづくりに関わる様々な主体が、めざすべき都市像とまちづくりの戦略等を共有し、その実現に向けた取組において、各主体の特徴を踏まえた役割を果たすことが肝要です。

そのためには、大阪全体のまちづくりの推進役を担う大阪府が中心となって、まちづくりの主導的な役割を担う市町村との連携強化を図るための体制を整えるとともに、マルチハブ&ネットワーク型都市構造の形成や大阪が有する立地ポテンシャルや地域資源の活用などといったテーマに則した、関係者が参画する体制等の構築を図ります。



(2) グランドデザインの推進に向けた取組

上述の推進体制のもと、各主体がそれぞれの役割を果たしながら、今後の社会状況の変化にも対応しつつ、民間の活力を最大限発揮しながら、多様な主体が一体となったまちづくりを進めます。

- 多様な主体の共有や参画を促し、まちづくりの機運醸成等を図る取組
- 民間主導のまちづくりを推進するための環境整備
- 市町村及び広域連携のまちづくりの推進
- まちづくりを育てるための取組の推進
- グランドデザインの進捗管理

取組ロードマップ

大阪・関西万博の開催やIRの開業（※区域認定申請中）、なにわ筋線開業、スーパー・メガリージョン（SMR）形成等のインパクトを活かし、成長・発展していくため、短期（2025年春）、中期（2030年頃）、長期（2040年～2050年頃）を目標とした、まちづくりの戦略に基づく主な取組のロードマップを示します。

【大阪の成長・発展に向けたイメージ】



【ロードマップの抜粋】

| | | 2025年春まで | 2030年頃まで | 2040年～2050年頃まで | |
|------|--------------|---|--|----------------|-------|
| 戦略01 | 新大阪・大阪 | ●2024夏頃一部先行まちびらき | ●2027全体まちびらき | | |
| | | うめきた2期 中核機能実現のための取組・民間開発・基盤整備 | | | |
| | | 新大阪駅周辺 スーパー・メガリージョンの形成を見据えた民間都市開発の促進／広域交通結節施設等の機能強化 | | まちづくりのさらなる推進 | |
| | 堺都心周辺 | 淀川河川敷十三エリア魅力向上（本格始動に向けた準備） | | | |
| | | 堺日港等の魅力あるエリア形成に向けた交流空間創出 | 多様な都市機能の導入・強化 居心地の良いウォーカブルな人中心の空間形成 | | |
| | | | 歴史・文化を活かした都市魅力の向上 | | |
| | | 公共交通軸の強化や次世代モビリティ等の活用による便利、快適かつ面的な移動環境の形成 | | 技術の進展等に応じた進化 | |
| | 北部大阪 中枢拠点 | ●2023 都計事業認可 | 千里中央地区 再整備 | | |
| | | ●2024 北急延伸／駅前施設整備 | 箕面船場阪大前駅 周辺まちづくり | | |
| | | | 万博記念公園駅前アリーナ整備 | ●2027 周辺施設等整備 | ●2037 |
| | | 千里北地区センター 再整備 | ●2025 都計事業認可 | | |
| 戦略04 | 道路 | 大阪都市再生環状道路整備 | | | |
| | | 新名神高速道路整備 | ●2027 | | |
| | 鉄道 | リリア中央新幹線(品川～名古屋)整備 | | (名古屋～大阪) | |
| | | 北陸新幹線(金沢～敦賀)整備 | | (敦賀～新大阪) | |
| | | 北大阪急行延伸 | | | |
| | | メトロ中央線延伸 | | 夢洲北ルート | |
| | | なにわ筋線整備 | | ●2031 | |
| | | 大阪モレール延伸 | | ●2029 | |

※上記取組は、各戦略に基づく様々な取組から主なものを抽出したものであり、ここに示す以外の取組についても、多様な主体が一体となって進めていきます。